

各 位

国立大学法人室蘭工業大学
北海道ボブスレー・スケルトン連盟

国立大学法人室蘭工業大学と北海道ボブスレー・スケルトン連盟による
クラウドファンディングを利用したスケルトン用国産ソリ開発に挑む

本学ものづくり基盤センター（センター長：清水一道教授）では、北海道ボブスレー・スケルトン連盟からの依頼を受け進めている研究プロジェクトについて、十分な研究環境を作るために、クラウドファンディングサービス「Readyfor（運営：READYFOR 株式会社）」において、5月18日（金）を期日に、200万円を目標とした寄附募集を行います。

■プロジェクト内容

現在、スケルトンでは、国内にソリを製造する専門メーカーが無く、国内選手は海外製品の中古を譲り受け使用しているのが現状です。しかし、中古品は体型に合わず、フィットしないため、バランスが悪く成績が伸びないという問題を抱えています。

そこで、2022年の北京冬季五輪への出場や好成績を残すことを目標として、鉄の街・ものづくりの街における技術を活かしたジュニア選手用の国産ソリの開発を進めることとなりました。

切削・溶接・3Dプリント技術・シミュレーション技術などを保有する本学の技術や、地元中小企業の企業力を結集して科学的知見から「勝つ」競技用ソリの開発を実施いたします。

■プロジェクトについて

- ・プロジェクトタイトル：「鉄の街の技術で挑む！スケルトン用国産ソリ開発」
- ・URL：<https://readyfor.jp/projects/muroran-skeleton>
- ・目標金額：2,000,000円
- ・募集期間：2018年3月16日（金）10時～2018年5月18日（金）
※期間内に目標金額に達しなかった場合は支援者に全額返金となります。
※本プロジェクトは寄附控除の対象となります。

■スケルトンについて

スケルトン競技とは、ボブスレー・リュージュ兼用の氷で作られた、全長1300m～1500mのコースを鉄製のソリで滑り降り、そのタイムを競う競技です。簡易な構造の小さなソリで滑走しますが、最高スピードは、時速125kmにも達する事があります。

特徴は、足を前にして乗るボブスレー・リュージュ競技とは異なり、頭を前にしてうつ伏せになってソリに乗るところです。欧米においては、広く盛んに行われている競技です。

長らくオリンピック種目から外されていましたが、2002年ソルトレイクオリンピックから冬季オリンピックの正式競技種目として復活し、先の平昌オリンピックにおいても実施されました。

【本件に関するお問い合わせ】

○寄附に関すること

室蘭工業大学経営企画課財務戦略係

担当者：井内 大介

TEL：0143-46-5048

mail：sikei@mmm.muroran-it.ac.jp

○研究に関すること

室蘭工業大学ものづくり基盤センター

担当者：清水 一道

TEL：0143-46-5651

mail：shimizu@mmm.muroran-it.ac.jp

